学校番号	3033

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『日本史探究』（実教出版）						
副教材等	『新詳日本史』（浜島書店）、『詳録新日本史史料集成』（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史を学ぶ意義にはさまざまなことが挙げられますが、中でも重要なのは、現代を相対化できる感性を養うことです。物質的な豊かさや精神的な自由、平和や民主主義など、現代を生きる私たちにとっては当たり前のことが百年前、千年前には当たり前ではなかったという事実を学ぶことで、私たちが属している時代や社会が決して超時間的な存在ではないという気づきに繋がればと考えています。
・授業形態は講義形式を基本としますが、班に分かれて各自が自分の考えを出し合い、討論する機会も可能な範囲で設定します。また、歴史をより身近に感じてもらう機会として、年１回、学校の外に出て地元の資料館の見学会を実施する予定です。

2　学習の到達目標

・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	原始・古代の日本と東アジア	・日本文化のあけぼの ・ヤマト政権の成立と古墳文化 ・律令国家の形成 ・古代の国家・社会の変容	a:旧石器時代から平安時代に至る各時代の特色を理解するとともに、各時代の特色を示す適切な歴史資料から情報を収集し、読み取る技能を身に付けることができている。 b:旧石器時代から平安時代に至る歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、各時代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現することができている。 c:諸資料を活用して仮説を踏まえ、「国家の形成と古墳文化」などのテーマについて主体的に探究し、多面的・多角的に考察することができている。	定期考査	ワークシート グループ発表	ワークシート
	中世の日本と世界	・荘園公領制の成立と院政 ・中世の国家・社会の展開 ・中世の国家・社会の変容	a:　平安時代末から室町時代に至る各時代の特色を理解するとともに、各時代の特色を示す適切な歴史資料から情報を収集し、読み取る技能を身に付けることができている。 b:平安時代末から室町時代に至る歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、各時代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現することができている。 c:諸資料を活用して仮説を踏まえ、「武家政権の成立と展開」などのテーマについて主体的に探究し、多面的・多角的に考察することができている。	定期考査	ワークシート グループ発表	ワークシート

後期	近世の日本と世界	・東アジア世界の変容と天下統一 ・幕藩体制の成立と展開 ・近世の国家・社会の変容	a:安土桃山時代から江戸時代に至る各時代の特色を理解するとともに、各時代の特色を示す適切な歴史資料から情報を収集し、読み取る技能を身に付けることができている。 b:安土桃山時代から江戸時代に至る歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、各時代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現することができている。 c:諸資料を活用して仮説を踏まえ、「幕藩体制の確立」などのテーマについて主体的に探究し、多面的・多角的に考察することができている。	定期考査	ワークシート グループ発表	ワークシート
	近現代の地域・日本と世界	・開国から倒幕へ ・明治維新 ・近代国家の形成 ・両大戦間の日本 ・十五年戦争と日本	a:幕末以降、昭和戦前期に至る各時代の特色を理解するとともに、各時代の特色を示す適切な歴史資料から情報を収集し、読み取る技能を身に付けることができている。 b:幕末以降、昭和戦前期に至る歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、各時代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現することができている。 c:諸資料を活用して仮説を踏まえ、「明治維新」などのテーマについて主体的に探究し、多面的・多角的に考察することができている。	定期考査	ワークシート グループ発表	ワークシート

後期	近現代の地域・日本と世界	・戦後日本の形成 ・グローバル化のなかの現代日本	a:第二次大戦後の時代の特色を理解するとともに、時代の特色を示す適切な歴史資料から情報を収集し、読み取る技能を身に付けることができている。 b:第二次大戦後の歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、戦後社会の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現することができている。 c:諸資料を活用して仮説を踏まえ、「占領政策と諸改革」などのテーマについて主体的に探究し、多面的・多角的に考察することができている。	定期考査	ワークシート グループ発表	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度